

事業所名 I Le 曙 うみ (児童発達支援)

## 支援プログラム

作成日

8 年 3 月 9 日

法人（事業所）理念	子どもたちの未来を支え、医療と療育の架け橋に		
支援方針	子どもたちが持つ可能性を最大限引き出します。 子どもたちが心身ともに健やかに成長できる環境を整えます。 保護者の皆さまへの支援にも力を入れます。		
営業時間	9 時 30 分から 18 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、検温や自宅での様子を聞きながら健康チェックします。</li> <li>・来所したら荷物の片付け、手洗いを行い、遊んだ玩具の片付けや着替え等、基本的な生活スキルの向上をめざします。</li> <li>・偏食や食事に関する課題については、子どもの発達特性や感覚過敏を考慮し、臨床心理士や医師と相談して支援方法を検討します。</li> </ul>	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーキット運動やリズム遊びを通じ、日常生活に必要な姿勢保持や体幹の強化をはかり、身体のバランス感覚を身につけます。</li> <li>・工作等を行い、楽しみながら手指訓練を行います。</li> <li>・運動が苦手な子どもには、視覚や触覚を用いた補助を行い、成功体験を積み重ねられるよう工夫します。</li> <li>・理学療法士による定期的な評価（粗大運動・微細運動）を実施し、活動内容を工夫していく。</li> </ul>	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝、昼の会で一日のスケジュールをイラストで提示し、見通しを立てられるように支援します。</li> <li>・注意欠如や多動性を持つ子どもには、短時間で集中できる課題を設定し、成功体験を重ねることで自己肯定感を高めます。</li> <li>・問題行動が見られる場合は、行動分析を行い、適切な環境調整とスモールステップでの目標達成をサポートします。</li> </ul>	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の発達の遅れている子どもには、絵カードやジェスチャーを活用し、コミュニケーションの基盤を育てます。</li> <li>・言語聴覚士による個別の言語訓練を行い、語彙力の向上や会話のキャッチボールを促します。</li> <li>・子どもが、どのような表現であれば相手に伝わりやすいか、関係を良好に保ちやすいかを実際の場面を想定したやりとりの練習を行います。</li> </ul>	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味があることや好きなことを通して「楽しい」「嬉しい」を共有し、楽しい環境の中で安心して過ごせるよう支援します。</li> <li>・職員や友達との関係において、「受け止める」「受け止められる」心地よさを味わい、自他の理解を深められるよう支援します。</li> <li>・年齢や発達に応じた遊びや共同作業を通じて、協調性や集団行動への適応を促します。</li> </ul>	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳やLINE、電話などを通して、保護者の不安や悩みに対して迅速に対応いたします。</li> <li>・いつでも気軽にお話しができるよう、個室を準備しています。</li> <li>・クリニックと連携し、今抱えている諸問題に対応いたします。</li> <li>・保護者向けワークショップや講習会を開催し、療育の考え方や実践的なテクニックを共有します。</li> </ul>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所、併用事業所、放課後児童クラブ等へのスムーズな移行を支援します。</li> <li>・教員や保育士への子どもの特性や対応方法に関する情報提供を実施します。</li> <li>・ライフステージに合わせ、将来を見据えての移行に向けた準備を行います。</li> <li>・地域の教育・福祉機関と連携し、将来の進路や支援体制の確保を支援します。</li> </ul>
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保育園、学童、教育機関、医療機関等と連携を図っていきます。</li> <li>・地域の福祉施設や専門機関との連携を通じて、子どもに適した療育環境を広げていきます。</li> <li>・地域の人たちとの共同活動（例：夏祭りでの模擬店運営、地域の伝統行事への参加）を企画し、子どもたちが社会とつながる経験を提供します。</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育の専門性を高めるために、最新の療育手法やケーススタディを中心とした研修を月1回実施。</li> <li>・臨床心理士や医師が講師となり、各職員が現場で抱える課題について議論するケース会議を開催。</li> <li>・療育や発達支援に関連する外部セミナーや学会への参加を推奨。</li> <li>・他施設との合同研修や情報交換会を通じて、広い視点を養う。</li> <li>・定期的なスキル評価と個別フィードバックを通じて、職員一人ひとりの成長を支援。</li> <li>・新人職員に対するメンター制度を導入し、現場での即戦力を育成。</li> </ul>
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じるような活動を取り入れています（むーちー、節分、ひな祭り、端午の節句、ハロウィン、クリスマス等）。</li> <li>・夏場は海水浴やバーベキュー、ペランダで水遊び。午前中の涼しい時間帯は公園遊びも。</li> <li>・沖縄こどもの国や、多くの遊具がある大規模公園、博物館や水族館へ見学。</li> </ul>		